



日本共産党 北区議会議員

のの山けん 区政レポート

<https://ken-nonoyama.com/> mail@ken-nonoyama.com

No.794 2026.7.22

日本共産党北区議員団

〒114-8508 王子本町1-15-22

ご相談は
お気軽に **090-2156-3510**

赤羽まちづくり
ガイドライン
策定検討会

第1回 基盤・土地利用部会 議論の概要を公開

今年度から2か年の予定で行われている赤羽駅東口地区まちづくりガイドライン策定検討会で、6月19日に開かれた第1回基盤・土地利用部会の「議論のポイント等」が、北区ホームページで公開されました。

JR高架下を ガイドライン区域に

部会では、駅前広場より北側のJR高架下をガイドライン区域に含めることや東口駅前広場の整備についての現況・課題などを検討、複数の委員から「現在の駅前広場の区域に留まらず、市街地再開発事業の動きがある区域を含めて、一体的に様々な課題を解決する必要がある」などの意見が出たとされています。

部会での議論は 地域住民に公開を

今回の検討では、策定検

赤羽駅東口地区まちづくりガイドライン策定検討の詳細は北区ホームページをご覧ください↓



討会（親会議）は公開されているものの、基盤・土地利用部会と施設整備部会、赤羽小学校や赤羽公園などの改築方針のたたき台をつくる庁内検討は「非公開」となっています（**図参照**）。まちづくりの議論は地域住民に開かれたものであるべきです。部会の議事録公開とともに、あらためて部会、庁内検討の公開を求めるものです。（のの山けん）

赤羽駅東口地区まちづくり ガイドライン策定検討会

基盤・土地
利用部会

施設整備
部会

※策定検討会（親会議）以外は、
すべて**非公開**

庁内検討
・赤羽小、赤羽公園
などの改築方針

戦争・改憲反対 7.19赤羽アクション

19日夜、赤羽駅東口で戦争・改憲に反対するペンライトデモが行われました。国会前行動からの帰りに立ち寄った参加者も多く、私もマイクを握ってスピーチさせてもらいました。（のの山けん）



火災に伴う滝野川第三小学校の教育環境確保

子ども・保護者に寄り添った対応を



16日に開かれた北区議会第2回臨時会は、火災に伴う滝野川第三小学校の教育環境確保のための学校設置条例改正、補正予算を可決しました。(のの山けん)

現在、滝三小では火災によって3・4階の教室が使えないため、同校の1・2階と近隣の区立小中学校への分散登校が行われています。

北区は夏季休業明けから全校児童がそろって学べる環境を確保するため、現在空き施設となっている旧清水小学校を代替施設とする学校設置条例の一部改正と、旧清水

小の整備や滝野川から旧清水小へ通学するためのバス運行管理業務委託予算などを計上する補正予算を提案しました。

4時間半に及んだ保護者会

これに先立って開かれた第2回保護者会では、区が示した旧清水小への移転方針に対し、多くの保護者から疑問や不安の声が出され、午後6時から始まった会議は10時過ぎまで続きました。

保護者有志からは、滝野川分庁舎など他の代替施設の可能性や通学方法の再検討、滝三小の改築・改修方法など、子どもの利益を最優先とした意思決定を行うよう求める要

北区議会第2回臨時会における滝野川第三小学校関連の議決について 日本共産党北区議員団

一、6月19日に発生した滝野川第三小学校での火災を受けて、7月16日の北区議会第2回臨時会は、夏休み明けに学校の位置を旧清水小学校へ変更して教育活動を再開するための学校設置条例改正案と補正予算を可決しました。

これに先立つ第2回保護者会では、保護者らから、長距離のバス通学になることや他の代替施設の可能性はないかなど、さまざまな意見が出され、議会に対しても慎重な審議を求める声が寄せられました。

一、日本共産党北区議員団は、北区および教育委員会が示した方針は、現時点においてはひとつの現実的な方策であると考えますが、保護者や子どもたちの意見、要望を聞き、合意を得るには、なお一定の時間が必要との判断から、条例改正案および補正予算の議決には棄権・退場という態度で臨みました。

一、加えて、党区議団が他会派や無会派の議員と共同で、児童への最大限の配慮を求める条例改正案への付帯決議を提案し、全会一致での可決となったことは、二代表制における議会の役割を発揮したものと考えます。

一、今後とも、保護者、子どもたちに寄り添った対応に努め、教育環境の確保・充実に全力で取り組んでいきます。

望書も出されています。

子どもと保護者の納得と合意を

日本共産党議員団は、こうした状況を考慮して現時点での条例改正と補正予算の議決には棄権・退場し、

児童への配慮を求める付帯決議を提案。決議は、全会一致で議決されました。今後とも、子どもたちや保護者に寄り添い、納得と合意を大切にしながら教育環境の整備を進めるよう、北区に求めていきます。